

木造建築の新たな可能性

シェルター常務 安達 広幸氏



「燃えない木」さらに進化

「京都木材会館」プロジェクトで、木構造設計と構造体の供給を担ったシェルター。同社が開発した木質耐火部材「COOL WOOD」の活用が注目されていることになった。クール

「京都木材会館」プロジェクトで、木構造設計と構造体の供給を担ったシェルター。同社が開発した木質耐火部材「COOL WOOD」の活用が注目されていることになった。クール

「京都木材会館」プロジェクトで、木構造設計と構造体の供給を担ったシェルター。同社が開発した木質耐火部材「COOL WOOD」の活用が注目されていることになった。クール

「京都木材会館」プロジェクトで、木構造設計と構造体の供給を担ったシェルター。同社が開発した木質耐火部材「COOL WOOD」の活用が注目されていることになった。クール

「京都木材会館」プロジェクトで、木構造設計と構造体の供給を担ったシェルター。同社が開発した木質耐火部材「COOL WOOD」の活用が注目されていることになった。クール

interview

2時間耐火技術

シェルターが開発



2時間木質耐火部材を採用した「京都木材会館」



地域の木材活用
川上―川下をつなぐ

京都木材会館に採用された2時間耐火のクールウッド（柱）。3月8日の完成見学会にて

木質耐火部材「クールウッド」

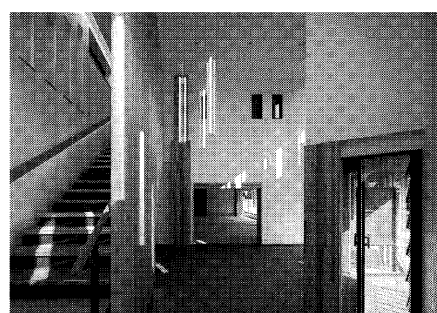
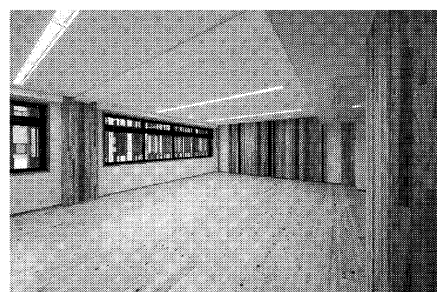
14階建てビルも可能

全国初となるシェルター 市中央区。京都の地域産木材を活用したプロジェクトで、今年JRE三条駅近くの新ビルが誕生した。木造耐火技術の進化により、都市に木造の建築物が姿をみせつつある。

技術を選んだ。京都では初の木造4階建てビルとなり、町中でひととき目立つ存在だ。立ち止まるとその姿を見つめる人も多い。シェルターは構造設計と元の設計事務所、工務店がタッグを組み地域経済の活性化モデルでもある。3月8、9日の両日、同組合とシェルターなど4社が共催により、現地で開いた完成見学会には全国から計約70人が参加した。北は北海道、南は鹿児島から地域資源となる地元産木材を使ったビジネスモデルを確かめるに当初見込みを大幅に上回る参加者が集まった。参加者はゼネコン、設計事務所、自治体、工務店、学生など。地元産材を活用した京都・京都でのプロジェクトを実際に確かめ

京都初 4 階建て木造ビル 「京都木材会館」完成！！

- ◆日本初の木現し2時間耐火部材“COOL WOOD”採用
- ◆構造材に京都府産材を100%使用した純木造4階建てビル
- ◆風と光をゆるやかに取り入れる杉の無垢板を組み上げたルーバー



事業者：京都木材協同組合
設計：ゆう建築設計事務所
+ 砂山太一（建築家・プログラマー）
構造：シェルター（木構造）
+ 福井建築設計事務所（基礎、鉄骨階段）
設備：幹設備設計事務所
施工：吉村建設工業
+ 竹内工務店（木工事）

木質耐火部材“COOL WOOD®”

木質耐火部材“COOL WOOD®”（クールウッド）は、核となる木材を石こうボードで囲み、外側をさらに木材で覆った特許製品です。低コストで加工しやすいことに加え、木の温もりを活かした建物に仕上げるができます。各地の地域産木材で製作することができ、京都木材会館では京都府産の桧材、杉材を使用しています。

【三重構造】

- ① 核となる「構造部材」には木材を使用
- ② 中間部の「燃え止まり層」には石こうボードを使用
- ③ 「表面材」には地域ごとに様々な木材を使用

COOLWOOD®
Fire-Proof Technology

日本初！木造2時間耐火の国土交通大臣認定

Shelter®

木造都市のバイオニア 株式会社 シェルター
本社 / 山形市松栄1-5-13 tel.023-647-5200
KES営業本部 / 港区芝5-13-15 芝三田ビル tel.03-5418-8800

都市に森をつくる。
木造建築を通して、都市をつくっています。建築・都市計画を通して、環境及び環境問題に関する調査・研究・情報の提供を行っています。

www.shelter.jp